

令和3年度
学校関係者評価報告書

令和4年5月
獨協医科大学附属看護専門学校三郷校

1. 領域別評価

I 学校経営	学校経営については、教育目標や目指す学校像に向かい、全教職員が同じ方向に向くことが大事である。また人権、個人情報保護等の課題については、組織のコミュニケーションで解決することが必須と思われる。常に各部署の責任者同士で情報共有、情報管理することが求められる。
II 教育課程・教育活動	コロナ禍という厳しい環境にあっても感染対策を実行しながら教育活動を展開したということは評価できる。できるところを確実にやるという地味な努力の結果だと思われる。教育課程については定期的に検証を行い、教育目標を達成するための最善策を見出してもらいたい。
III 学習成果	看護師育成、国家試験合格100%という明確な目標がある。コロナ禍という不十分な環境でも100%合格を達成できたのは素晴らしい。大いに評価できる。学内評価では評価基準の部分が低い評価であったが、分析を見る限りやるべきことはできている。学生が納得できる評価方法の工夫が求められているのであろう。
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	やはりオープンキャンパスで学校の教育理念を語ることが大事である。どのような看護師になってもらいたいのか、そのためにどのような教育を実践するのか、熱く語ることが大事である。卒業生の離職が話題に上がったが、この学校で学びたいという入学生を確保することで、離職問題を半分解決できるとと思われる。
V 学生生活の支援	食堂、昼食の問題等もあるがそれらは何とか学生で解決できる。それよりもカウンセリング体制があることは素晴らしい。ただ、利用されていない事実もあるようだが、積極的に学生にアピールすることで解決できる。またSNSの正しい利用方法等の学生支援もあると良い。
VI 財政・施設設備の管理	以前学内を見学したが、施設設備については十分だと思われる。財政面については正直わからないが、たとえ不十分なものがあっても、教員の情熱や熱い思いがあれば乗り越えられると思う。そこを十分実施したうえで財政の不足分について申請することが大事である。
VII 教職員の能力向上	国家試験100%だけを見ても教職員の資質は十分であろう。ただこの世界も日進月歩であるので、今の体制に満足せず、あらゆる角度で研修を積むことが求められる。特に授業力を向上させるには、教員間で授業公開し、研究協議を重ねるしかない。常に資質向上が求められている。
VIII 広報・地域活動	今年度はコロナ禍で難しかったのであろうが、地域の行事には積極的に参加することは必要である。また教職員が積極的に出向き、地域がこの学校に何を求めているのかのリサーチも必要であろう。

2. 総括

<p>目標達成に向けてとても努力していることがわかりました。 あとこの学校関係者評価の項目ですが、もし改善できるのであれば次の一考をお願いします。</p> <p>IVの入学・卒業対策について、「入学」と「卒業」は別物なので評価が難しかったです。 VIIIの広報・地域活動についても「広報」と「地域活動」は別物だと感じました。むしろ「入学」と「広報」は同一のもとだと感じます。</p>
